

発行日：令和6年5月9日

夢をかなえるゾウ

水野敬也

私が中学生のころ、「とにかくこれ読んでみな」と担任の先生に渡されたのがきっかけでこの本と出会いました。自己啓発本ですが、堅苦しい内容は一切なく、テンポよく読み進められます。コテコテの関西弁で話すインドの神様がネーシャ様が登場し、物語ベースで進んでいき、人生にプラスになるようなことを教えてもらえる一冊です。この本を通じて、自分のことを見つめ直すきっかけになりました。

「変わりたい」と思っているもなかなか自分を変えられない…そんな人に是非読んでいただきたいです

長谷部先生



やっぱり原神って楽しいんですね。皆さんは普段ゲームしていますか？大宮開成生は優秀な人が多いので、やっていないか両立できているかの人が大半だと思いますが、私はこの学校では希少な重度のゲーム中毒者で、皆さんが勉強している間日々マップ探索やデイリークエスト、素材集めなどなど全力でゲームに勤しんでいます！

私は原神が大好きで、特に好きなのはキャラ育成ですね。もうほんとに幼女キャラが可愛すぎて、皆さん日々癒し足りてますか？かわいい補給できていますか？？私はボイスからモーションからもう全て可愛すぎて毎日尊死しています。原神にはお姉さんや筋肉、少年、細身などいろいろな属性のキャラがいて、好きなキャラ見つかること間違いなしなので1, 2年生の方はぜひ原神で旅してみたいはかがでしょうか？(わたしは受験生なので引退します泣)

群論への第一歩—集合、写像から準同型定理まで— 結城 浩

小学生で習った次の式をながめてみよう：

(i) $\alpha + 0 = \alpha$, $\alpha \times 1 = \alpha$ (ii) $\alpha + (-\alpha) = 0$ $\alpha \times 1/\alpha = 1$

(i) をみると、たし算における0と、かけ算における1は同じような役割があることに気づく。また、(ii) をみると、たし算における α に対する $-\alpha$ と、かけ算における α に対する $1/\alpha$ も同じような役割があることに気づく。このような、数などがもつ“演算”という側面に着目して、その性質を調べるのが代数学であり、群論はその1分科である。

この本は、群論の初歩について、予備知識をまったく仮定しないで、非常に丁寧に解説されている。そのため中学生、高校生にも「群論を理解したい」という気力さえあれば十分に読むことができる。特に高校生にとっては、この本に出てくる“well-defined”や“準同型定理”などの概念は、学校数学でもさまざまところで現れていることに気づくだろう。

現代数学に少しでも興味があるすべての人におすすめである。

村井先生



鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ

川上 和人

鳥類学者や研究者といえば、基本的に室内で論文を書いたり、実験したりとなんとなくイメージしていましたが、この本で覆されました！鳥類学者であるこの本の作者が大自然の中へ飛び込んで研究していく様子が描かれているのですが、自分では決して体験できないようなことばかりで、読んでいる間とってもわくわくした気持ちになりました。さらに、その出来事への作者の語り口調が少し毒舌で（皮肉めいていて）つつい口角が上がるほど面白く読めました。堅苦しい文章はなく、研究者の仕事がリアルに描かれてスラスラ読めるのに、多くの情報を得ることもできました。

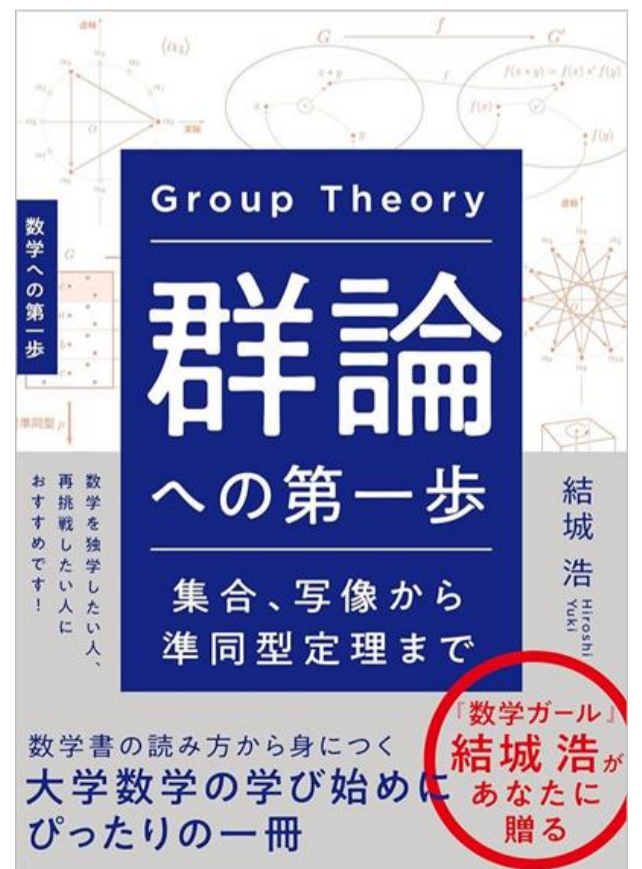
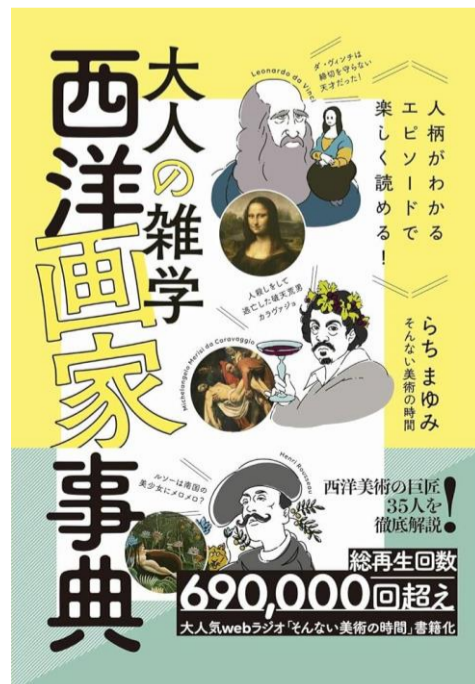
工藤先生

大人の雑学 西洋画家辞典

らち まゆみ

西洋美術の巨匠35人が紹介されています。ピカソやゴッホ、レオナルド・ダ・ヴィンチなど絵からだけでは分からないそれぞれの画家の生い立ちや人柄がエピソードを通して知ることができました。美術に興味をもってもらえる入り口になるような一冊だと思います！

小松先生



「数学ガール」結城浩があなたに贈る

数学書の読み方から身につく大学数学の学び始めにぴったりの一冊